日本財団 海と日本PROJECT

京都の海の恵みと豊かさ、そして山や川などの自然が海に与える影響について京都市内の小学生が学んできました。

海の京都 調査隊

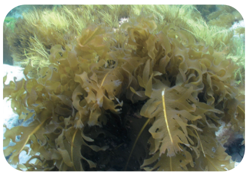
わかめから学んだ海のヒミツ

京丹後の山・川・海のつながり、わかめとの関係は

京丹後では海の豊かさを守るために山や川の手入れをされています。なぜ海の環境を守るために山の手入れをするのでしょうか？それは山の豊かさが川を通じて、海に恩恵をもたらすからです。具体的には、山の樹木から落ちた葉や、森の土壌に含まれる多くのミネラルをはじめとする様々な物質が雨水や地下水に溶け込み、河川を通じて海に運ばれ、植物性プランクトンを発生させます。それが貝類や動物性プランクトンの餌となり、やがて魚が集まり良い漁場となります。自然豊かな山や川があるからこそ、美味しいわかめやアカモクが育ち、琴引浜の鳴き砂が今日まで守られているのです。

学習のポイント

- この京丹後の"美しき豊かな海が育まれる理由を知ること"からスタート！
- 山林や竹野川を実際に調査。陸地の自然環境が、海にどのような影響を与えているのかを学ぶ！
- 地域の漁業と京丹後で郷土食となっている「わかめ」について調査し、伝統漁法である水視漁法の体験や、採れたてわかめを干す体験など海が育む食材の魅力を再認識するプログラムを体験！



1 京丹後の自然環境調査

ポイント！ 自然豊かに見える京丹後の森ですが定期的に人の手により管理がされています。それによって生き物が住みやすい環境が維持され、綺麗な川の水が維持されます。

京丹後の海へつながる竹野川の上流で水質調査を行いました。事前学習で行った京都市内の白川の水質調査結果をもとに、自分たちの住んでいる環境と京丹後の川の環境を比較し、京丹後の里山の美しい環境を知るとともに、豊かな海と里山のつながりについて学びを深めました。子どもたちは、竹野川に生息する魚など動植物に関わるクイズに対しても興味津々といった様子で取り組みました。

2 琴引浜での海の環境調査

鳴き砂の浜としても有名な「琴引浜」で鳴砂が鳴る秘密や、砂浜にいる微小貝や海の生き物について学びました。豊かな自然の中にあるこの浜も、地元の人たちの保全活動によって守られています。子どもたちは積極的に琴引浜の環境保護の在り方を学ぶとともに、「海を守ること」に自ら取り組む姿勢を見せてくれました。

ポイント! 微小貝は綺麗な海にしか生息できません。
琴引浜周辺の海ではまだ綺麗な海が守られているという事がわかりました。

3 わかめ・アカモク加工所見学・体験

京丹後の海で収穫した粉わかめの瓶詰や茹できざみアカモクの加工を体験しました。参加した子どもたちはパリパリになったわかめを試食したり香りをかいだり、茹でて刻まれると糸を引くアカモクを初めて見たりと、貴重な体験を通して、地元京都の海の恵みを一生懸命に学んでいる様子でした。

わかめ漁見学・わかめ板干し体験

京丹後のわかめ漁は機械を使わない水視漁法で行われています。利き手にわかめを刈り取る鎌を持ち、逆の手に船を操る櫂を、そして頭と口で固定した箱メガネを使って漁をします。子どもたちは、昔からの伝統漁法を船の上から見学し、実際に使っている漁具に触ったり動かしたりしてイメージを働かせていました。その後、地元の方に教わりながら採れたてのわかめの板干し体験を実施するなど、京丹後地域の特産物に関する知識を深めました。

ポイント! 京丹後のわかめのように天日で干すわかめと、乾燥機に入れたわかめとではツヤの出かたと香りが違うとのこと。
京丹後のわかめを食べる時は見た目と香りに注目してみてください。

4 今、私達に出来る事

京都市内に流れる白川の環境と京丹後の山林や川の水質を比較し、その川が海へ流れ込むことによって、京丹後の海はどのような影響があるのかを学びました。今の自分たちには何が出来るのか？そして今後の海の環境を守るためにはどのようにしていかなければならないのかを考えました。

琴引浜の砂浜は
音がなることに驚いた。
この綺麗な砂浜を守るために
ポイ捨てなどを無くすことが
大切だと思った。

竹野川で水質調査をした結果、
とても綺麗な数値が出たので
本当に自然豊かな場所なんだと
思いました。

荒れた森林は，太陽の光が地面に届かなくなります。そのため地面に草はほとんど生えず、生き物が住みにくい山となってしまいます。そして固くなった土は大雨の時に洪水や土砂くずれを起こすなど，多くの問題を引き起こします。そうなると河川の水も汚れていき、その汚れた水が海に流れ込みます。琴引浜のすぐ後ろには松林や森があるため、山や川の環境が崩れてしまうとすぐに鳴き砂や海に影響が出てしまいます。綺麗な海や琴引浜を守るためには森や川を人の手で守る事も必要です。

日本財団 THE NIPPON FOUNDATION 海と日本 PROJECT in 京都

海と日本プロジェクトは日本財団の旗振りのもと、オールジャパンで推進するプロジェクトです。
さまざまなかたちで日本人の暮らしを支え、ときに心の安らぎやワクワク、ひらめきを与えてくれる海。
そんな海で進行している環境の悪化などの現状を、子供たちをはじめ全国の人たちが
「自分ごと」としてとらえ、海を未来へ引き継ぐアクションの輪を日本全国に広げています。

海と日本　京都　検索

https://kyoto.uminohi.jp

主催：海と日本プロジェクトin京都実行委員会事務局
〒602-8588 京都市上京区烏丸上長者町
KBS京都 事業部内 TEL.075-431-7350
助成：日本財団 海と日本プロジェクト